

ふれあい通信 平成25年12月号



発行：国保坂下病院広報委員会 TEL 0573-75-3118

ホームページアドレス <http://www.sakashita-hp.jp/>

「ふれあい通信」は坂下病院ホームページでも御覧いただけます

連載こくほ四方山話

病院長 高山 哲夫
(100 若い力を何時までも)

グッピーは、熱帯魚の中では、とてもポピュラーな魚です。ある温泉地では自然繁殖したと云う話も聞きます。でも、この魚はとても面白い。卵胎生であり、メスは卵ではなく稚魚を生み落とします。妊娠し大きなお腹を抱えたメスの腹をよく観察すると、体内にいる稚魚が見られます。また、出産周期が28日と、人の生理に近いことも面白い。出産間際のメスは、何となく落ち着かずそわそわすることから、その日が近いことがわかります。一方、オスはデノボーと云う、腹から突出した生殖器を持っています。このデノボーがあるかないかで、オスとメスを見分けることができます。そんなオスが、お腹の大きなメスの後を追いかけてしまっている姿を見ますと、人間社会と変わらないと思います。

このように、何かと人間に身近なグッピーですが、何度かお産を繰り返した古参のメスは、身体が若いメスの数倍にも大きくなり、辺りを睥睨し堂々と泳ぎます。その姿は緩慢ですが、何人もの子育てを経験し、少々のことでは動じない、肝っ玉母さんを連想さ

せます。そのような肝っ玉母さんのメスと共に、初めての出産を控えた華奢なメス、そして生まれたばかりの稚魚などが混泳し、知らぬ間に密集しているのが水槽の世界であり、水槽の社会の新陳代謝が行われて行きます。

今年も、地域医療研修のために2名の研修医がやって来ました。「坂下でやらずして何処で地域医療の研修を受けるのだ」年々の研修医の、とても有難く、かつ強烈な申し送りのためか、毎年意欲的、かつ医師としての能力も高い研修医が来ます。2人の資質もあるのでしょうか、スタッフの受けもとても良い。特に今年の二人は、黙って見ているも良い位に臨床の力もあります。そして、何よりも感心することは、意欲的であり労を厭わない。当初予定されていた当直スケジュールも「もっと担当させて下さい」との申し入れで担当回数を増加したほどです。常に何か仕事はないかと探す姿勢には、当方もうれしくなり「それではこれも担当してごらん」とまた新しい仕事を与えることになります。その結果、大学では1年に1回経験すれば良い検査なども数多く経験しています。

そのような医師としての仕事の他に、若い二人の存在は、ともすれば慣れきった業務で沈滞していた病院のスタッフにも好影響を与えています。生

き生きと動く彼等につられて、指導するスタッフのフットワークも、古参のグッピーから若いメスのように良くなり、院内全体が活性化して来ました。何よりも、スタッフとのコミュニケーションが良いことです。医師は、何もわからない若い頃から「先生、センサー」と持ち上げられ、少々悪いことをしても見逃して貰える。そのため、医師はとかく「俺は医師だから」と云う特殊な人種と錯覚し、高圧的な姿勢になりがちです。しかし、二人にそんな態度は全くなく、スタッフの言葉に素直に耳を傾けています。私の若い頃、電話をしていたら「私の電話は公衆電話を使って下さい。これは病院の電話です！」と怒ってくれた電話交換手さん。「検査中にクチャクチャガムを噛んで。みつともないでしょう！」と注意をしてくれた外来主任さん。若い二人を見ながら、そんな昔の記憶が蘇ります。

近年、医療も、従来の医師を頂点としたピラミッド型医療から、それぞれの専門職がそれぞれの立場から関わりを持ち医療を展開していくチーム医療に変わって来ました。立场上、医師は指示を出しますが、それは医師が全てにおいて優れ、偉いからではありません。チーム医療における医師の役割は、コーディネーターであろうと思います。

(内面に続く)

しかし、医師の中には「俺が医者だ。余計なことは言うな。」などと、スタッフの意見に耳を傾けない、あるいは助言を嫌がる古いタイプの医師もいます。しかし、どんなに優れた能力を持つていても、個人の能力より、何人もの能力を結集した方が、より優れた医療を提供できることは言うまでもありません。

さて、人は環境に慣れると、その欠点に気づきにくく、新しい目で問題点を指摘されても「いままでこれでやって来たのだから。」と改善を嫌がるものです。世の中に完璧な物などありません。視点を変えれば、いくらでも改善しなければいけない欠点が見えてくるものです。特に、組織は常に動いて行かなければなりません。周囲が動いている中で、自分だけが不変で或ることは、後退を意味します。そんな中で、若い力の参入は、そのような組織に新風を吹き込みます。今後の二人が、研修医の時の心、態度を持ち続けて欲しいものです。

医師のひとりごと



内科 酒井雄三

くそれでもがん検診の

おすすめします

皆さん、最近100万部の大ベスト

セラ―になった、慶應義塾大学医学部放射線科講師の近藤誠先生著の「医者に殺されない47の心得」をご存知でしょうか。「病院に行く前に必ず読んでください」とも書かれています。近藤先生はがんの放射線治療が専門で、以前からがんの手術については否定的でした。

この本には「がんの早期発見は無意味。検診や人間ドックはいかない方が長生きできる」、「がん検診をやめた村でがんの死亡率が激減した」、「がんの9割は治療するほど命を縮める。放置がいちばん」などの文章が並んでいます。また、この本に反論する医師の本なども出版されています。

そもそも近藤説では、粘膜の中にとどまって浸潤も転移もしない「潜在がん」「がんもどき」と本物のがんとは違うとの意見です。本物のがん細胞は、最初から「周囲に浸潤し、遠く離れた組織に転移する」性質を持つており、がんになった人を殺すまで増え続けるのに対して、いのちを奪わないがんは、がんのようなもの「がんもどき」で、本物のがんに育つことはないと言っています。

近藤先生の説が正しいのか、間違っているのかは議論となつています。近藤説による「本物のがん」と

「がんもどき」を明確に区別して診断できないからです。「がんもどき」であれば手術や抗がん剤治療などはできるだけしない方がよいでしょうし、「本物のがん」であれば手術や抗がん剤治療はえらいだけということになります。

皆さんご存知のように、今の日本人の死亡原因のトップはがんです。がんの中では、肺がん、胃がん、大腸がん、肝胆膵のがん、その他、の順です。煙草を吸う人が減れば肺がんは減るといわれています。また、胃がんはヘリコバクターピロリ菌が関係しており、ヘリコバクターピロリ菌の除菌がすめば減ってくることも予想されています。また、肝細胞がんの多くはC型肝炎やB型肝炎ウイルスが原因であり、インターフェロンなどの治療が有効です。近年、新しい感染者は少なくなつており、肝細胞がんも将来は減るであろうと考えられています。今後増えそうなのは、大腸がん、すい臓がん、胆のうがんなどでしょうか。

がんの中で「がんもどき」と「本物のがん」の区別が、見つかった時点ではわからないので、私たちはそのまま「放置」と決めるには覚悟がいります。やはり私たちは、検診で見

つかったがんでも、内視鏡による手術や外科手術などの治療をしたほうが、今の時点ではよさそうです。

内視鏡の手術などを考えれば、できるだけ小さい段階で見つけた方がよいでしょうから、やはり検診は受ける方がよいと考えています。すい臓や胆道がんなどは早期発見が難しく、6か月〜12か月での腹部の超音波検査やCT検査をおすすめします。

看護部便り

看護師再就職説明会を、11月24日(日曜日)に開催しました。

仕事をやめて、子育てをしている看護師さんが来てくれました。

医療の現場から数年離れたことで、知識や技術の進歩に追いつけるか不安があると話をしてくれました。医療は日進月歩で、看護分野も日々進化しています。しかし、これまでの知識や経験を基礎に新たな知識を重ねていくことは、それほど大変なことではありません。当院の支援体制も充実しています。

もう一つの不安は、子育てと仕事の両立です。未満児保育をしてくれる保育所が少ないため、子供を預かってもらえない場合は働くことが



できません。病院内の託児所の開設が望まれます。

再就職に関する相談は、今後も随時受け付けていきます。お気軽に相談してください。



第19回岐阜県国保

地域医療学会

11月17日(日)に、岐阜市ふれあい福寿会館にて、第19回岐阜県国保地域医療学会が開催されました。当院からは7名が研究発表を行いました。感染対策委員会を代表して、看護師の山中さんが「坂下病院における感染対策に対する取り組み」の発表を行いました。中津川市民病院との合同カンファレンス、岐阜大学医学部の指導を受けて実施した院内標準予防策の徹底の他に、地域住民の皆様に向けた、健康福祉まつりでのインフルエンザについての研修会などが評価され、優秀賞を受賞しました。

より良い医療を地域の皆様に提供するため、坂下病院スタッフ一同、さらなる研鑽を積んでいきたいと思っています。



第19回
岐阜県国保地域医療学会
演題抄録集

先月のイベント

4階東病棟 紙芝居

11月20日(水)、坂下病院4階東病棟レクリエーション活動として「紙しばい」が行われました。夕食前に食堂にて、約16名の患者さんに向けて披露されました。今回の紙しばいは「さるかに合戦」でした。

実は、この紙しばいは全て手作りで、4階東病棟のスタッフと患者さんが協力して、折り紙と貼り絵で作ったものです。作成に1年以上かかった力作のお披露目に、終わった後には大きな拍手が沸き起こりました。



アンケート結果のお知らせ

お知らせ

平成25年9月9日から30日まで、患者さんを中心とした来院者、入院患者さんの皆様に対して、品質方針や、外来及び入院環境について「当院ご利用の皆様へのアンケート調査」を実施させていただきました。444名の皆様のご協力が得られました。

この結果を院内の各部署に周知し、皆様により信頼される病院運営に今後も努力して参りますので、よろしく願います。

今回、別紙にて結果を報告させていただきます。

(坂下病院QMS管理委員会)

連載 四季の画

坂下病院 花暦



今月の花：(ノジギク)

ノジギク(野路菊)は、キク科キク属多年生植物。野菊の一種。日本在来種で、本州、四国、九州などの瀬戸内海・太平洋沿岸近くの山野に多く自生する。草丈は50cm程で、よく枝分かれをして群落を形成する。秋から冬にかけて開花し、直径3~5cmの花をつけ、白色の舌状花と黄色の筒状花をもつ。種子は春に発芽し、越冬した茎からは新芽が出て大株になる。



季節の画を提供して下さる三浦貞夫さんは木曾郡南木曾町田立在住。現在もリハビリをしながら絵を描き続けており、その作品はリハビリ室前の廊下にも掲示しています。

職員募集！ 看護師・准看護師さん

以下の時間帯で働ける方を、大募集しています！

「13:00~17:00」・「16:00~21:00」・「夜間」



* 外来・病棟での勤務になります *

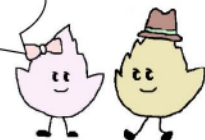
勤務内容、勤務時間などは相談に応じます。ご連絡をお待ちしています。

電話 0573-75-3118

内線 210

担当：松本看護部長

お待ちしております



☆ お知らせ ☆

催し物	日時・場所	内容
糖尿病食試食会	12月10日(火) 12月24日(火) 午前11時~3階食堂	予約：坂下病院栄養科(内線164) お電話でおねがいします。 会費：300円(食材費)
糖尿病教室	未定です。	
ふれあい健康塾	未定です。	

☆坂下病院各科診療表 診療状況により予約時間どおりには受診できない場合があります。予めご了承ください。
(平成25年12月現在) 予約変更などのお問合せは、平日午後2時以降に各科受付窓口へお願い致します。

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	第一(予約)	高山	酒井	高山(午前)	高山(午前)	酒井
	第二(予約)		緒方【呼吸器】	伊藤	高塚	田口【呼吸器】午後
	第三(予約)	信太(午前)	村瀬	信太		高塚(午前)
	新患外来	酒井	高塚	告野	信太	高山
	午前内科		大野【神経内】第3			佐橋【神経内】第1.3
	午後診療特殊			井上【漢方】第2.4 13:00~ 青木【腎臓】隔週		渡邊【腎臓】隔週
	午後診療	高塚	高塚	告野	酒井	信太
外科	第一	柴田	保坂【血管外科】	高橋【血管外科】	高木	水野
	第二	近藤	近藤	高木	近藤	高木
整形	第一	小嶋【リウマチ】	小松	小澤	小松	小松
	第二	矢野	米田	矢野	矢野	山下
小児科	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本	
眼科	木下 受付11:00まで	木下	木下 受付11:00まで	木下	木下	
泌尿器科	渡邊		渡邊	山田 第1.3.5 青木 第2.4	深津	
耳鼻咽喉科	和田	西村	清水	矢野原	稲川	
皮膚科			伊能 第1.3.5 松本 第2.4			
脳神経外科				大須賀 14:00~		
婦人科				浅井 第1.3	萬羽(午前)	

～アンケート結果のお知らせ～fi

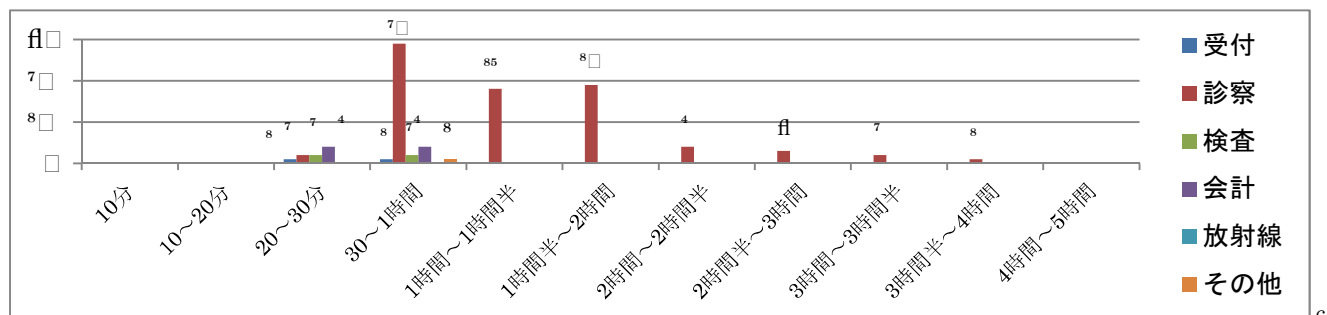
◆待ち時間にご不満を持たれたことはありますかfi

・不満…fi⁴ % (前回 fi^{fi}%) ・不満はない…、 % (前回、 %) fi

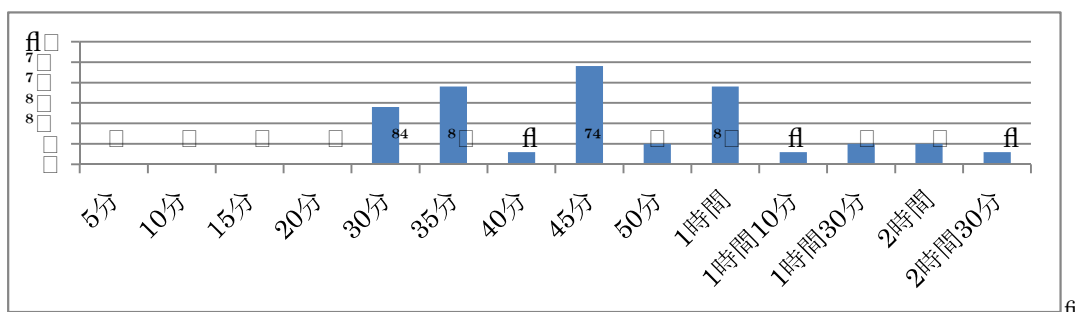
・ご不満をもたれた方の (fi⁴ %) の内、どの待ち時間でしたかfi

・診察…、⁵ % (前回、 %) ・受付…⁷ % (前回 ⁷ %) ・その他…⁸ % (前回 ⁸ %) fi
 ・会計…⁸fi % (前回 ⁸⁸ %) fi fi ・検査…、 % (前回 □%) fi

◆待ち時間はどのくらいでしたか fi



◆予約の方の予約時間からの待ち時間はどのくらいfi



・診察でお待ちになった方の内、その時の受診方法はfi

・予約…⁴⁵ % (前回 □%) ・予約なしの再診…⁸⁵ % (前回 ⁸⁵ %) fi
 ・初診…fi⁸ % (前回 ⁷⁷ %) ・その他…fi% (前回 ⁸ %) fi

◆嫌な顔をされたことがありますかfi

【外来】

・嫌な顔をされたことがある…、 % (前回、 %)

【入院】 fi

・嫌な顔をされたことがある…⁷ % (前回 □%) fi

・嫌な顔をされたことがある方の内、職種ではfi

【外来】・医師…⁷、 % (前回 ⁸⁷ %)

【入院】・医師…□% (前回 □%) fi

fi ・看護師…、⁵ % (前回 ⁴⁷ %)

fi ・看護師…⁸□□% (前回 □%) fi

fi ・受付…□% (前回 ⁴⁷ %)

fi fi ・受付…□% (前回 □%) fi

fi ・その他…□% (前回 ⁴ %)

fi ・その他…□% (前回 □%) fi

◆医療行為で間違いをされたことがありますかfi

【外来】・間違いをされたことがある人…fi% (前回 □%) 【入院】・間違いをされたことがある人…⁷ % (前回 fi%) fi

・間違いをされた事がある方の内、何を間違われたかfi

【外来】・名前…□人

【入院】・名前…□人fi

fi ・検査…⁷ 人

fi ・検査…□人fi

fi ・注射…□人

・注射…□人fi

fi ・薬…fi 人

・薬…□人fi

fi ・その他…□人

・その他…⁸ 人fi